

DMO組織に必要な人材の考え方

観光庁ではDMOに必要な人材を大きく分けて「トップ人材」「専門人材」「スタッフ人材」の3つに分類しており、これらの人材により観光地経営を進められる人員体制を進めていく必要があります

DMO人材分類		求められる能力	役割
トップ人材		・ リーダーシップ系統の能力 観光地域づくりに取り組む志を持ち、関係者との認識共有及び合意形成を行う能力 ・ マネジメント系統の能力 多様な関係者をとりまとめ、必要な人材や資金を確保し、プロジェクトの立案や進行管理を行う能力	・ 組織を運営し、経営責任を負う役割 ・ 行政や文化、農林漁業、交通等地域内の事業者に加え、地域住民などの幅広い関係者の利害や意見を調整し、合意を形成するとともに、組織としての意思決定と業務の運営管理を行う
専門人材	CFO 財務責任者*	・ マネジメント系統の能力 観光地域づくりに取り組む志を持ち、関係者との認識共有及び合意形成を行う能力 ・ ファイナンス系統の能力 中長期視点での財務戦略を立案・遂行し、安定的なDMO活動の財源を支える能力	・ DMO財源確保における最高責任者であり、財務戦略の立案・執行を司る ・ 経理や財務管理の範囲にとどまらず、安定的な資金調達に向けた活動を幅広く執り行い、DMO活動に必要な財源の安定確保を図る
	CMO マーケティング責任者*	・ マネジメント系統の能力 観光地域づくりに取り組む志を持ち、関係者との認識共有及び合意形成を行う能力 ・ マーケティング系統の能力 地域の魅力を創造することで、来訪者の新規獲得と既存顧客維持を行う能力	・ 各種データ等の継続的な収集・分析、収集したデータに基づく戦略の策定、マーケティング、顧客管理、ウェブサイト・メディア等を活用した効果的なプロモーション、観光資源の発掘と着地型旅行商品づくり等、観光地域づくり法人の各機能にわたる専門的な知識・スキル・ノウハウを備える人材
スタッフ人材		・ 各系統の基礎的知識	・ 専門的人材の下で実務を行う職員 ・ 実務を行う中でノウハウを蓄積することにより、将来的には各部門を担う専門人材へと成長することが期待

*CFO及びCMOは、観光庁へのDMO登録申請時点で体制として位置付ける必要がある
出所：観光庁「DMO形成・確立に係る手引き」を基に作成

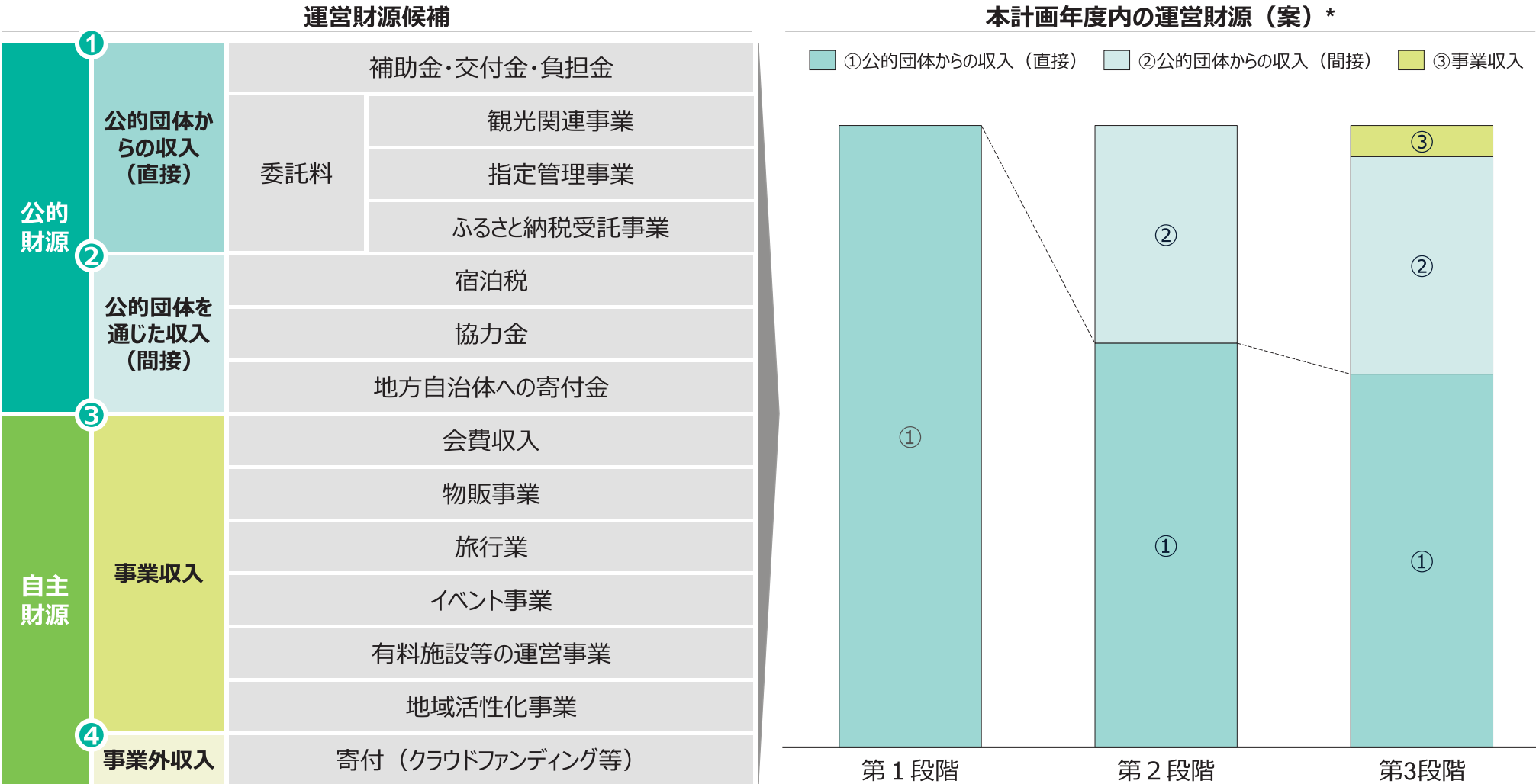
DMO組織の人材登用方針（案）

DMO組織の人材は、組織の各段階を踏まえながら、組織の成長に合わせて必要な人材を登用を進めていきます



やんばるDMOの運営財源の方針（案）

やんばるDMOの運営財源は、公的財源と自主財源の2つの財源を候補としてその確保に向けた取り組みを行います。本計画年度内は、公的団体からの直接収入を減らしつつ、宿泊税等の間接収入や事業収入の組み合わせによる運営を目指します

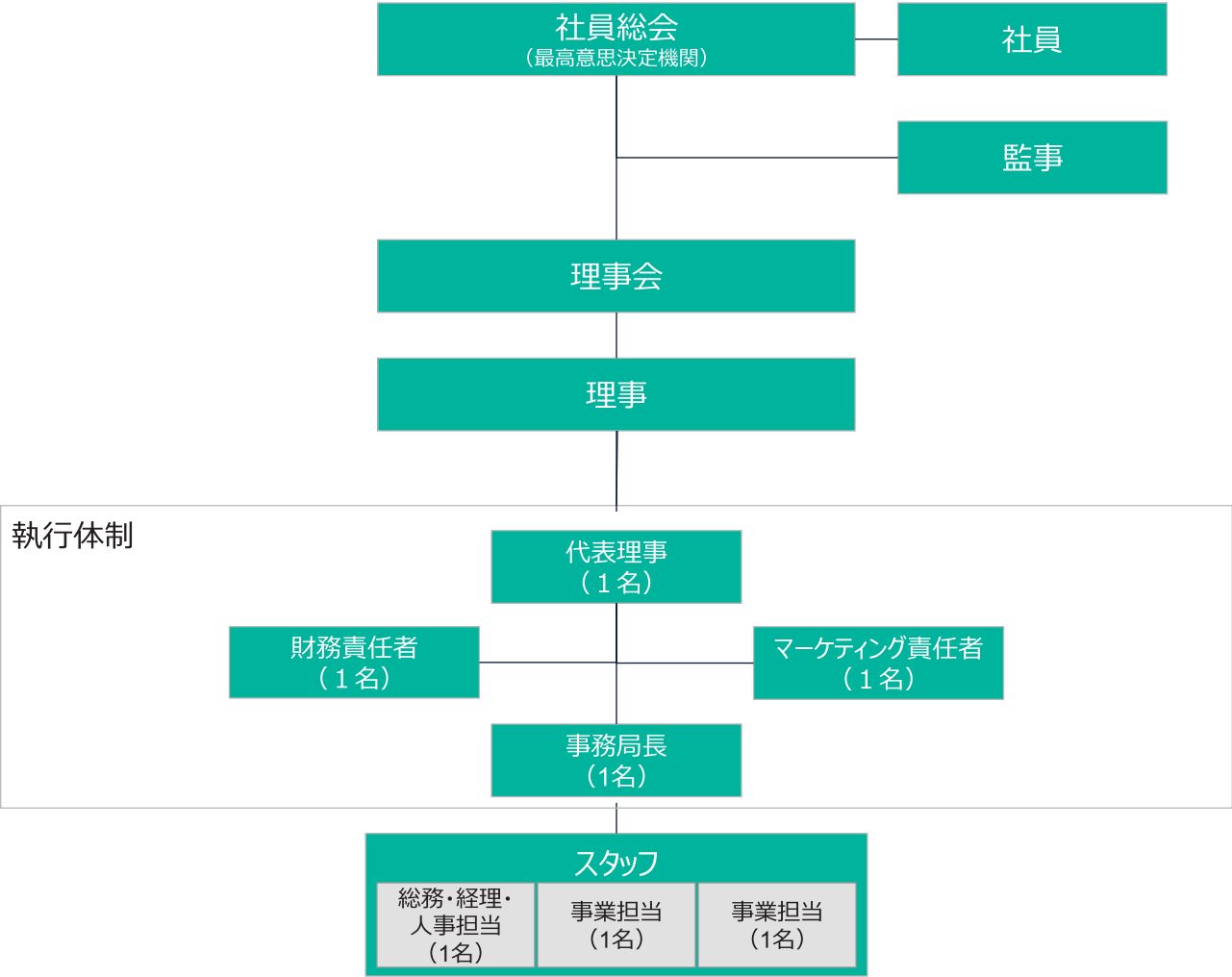


*運営財源の第1～3段階の期間年度や達成水準（目標）の詳細については、「DMOの立上・運営に向けた中長期ロードマップ」を参照

4 章 やんばるDMOの推進体制及びロードマップ

やんばるDMO（観光地域づくり法人）の組織体制図（令和7年10月～）

法人格取得後は、以下の執行体制のもとに事業を推進していきます



DMOの立上・運営に向けた中長期ロードマップ

本戦略の計画期間（5年間）では、以下の第1～3段階のステップ（達成水準）を設けた上で事業運営を行っていきます

			第1段階 (組織立上／DMO登録期)	第2段階 (安定運営期)	第3段階 (機能拡充期)
年度			R7年（2025）～ R8年（2026）上期	R8年（2026）下期～ 令和10年（2028）下期	令和10年（2028）下期～ 令和11年（2029）下期
目標地点			- 組織立ち上げ準備（R7年上期） - 観光庁へのDMO登録手続き・申請対応（R8年上期）	観光庁の登録DMOへの登録（R8年下期）	—
達成水準	地域全体		やんばる地域の主要な関係者と関係性が構築できている状態	やんばる地域全体の合意形成を図るための戦略をDMO主体で立案し、地域全体で合意形成が図られている状態	
	DMO組織	人材	設立初期段階に必要な人材を登用し、組織的な意思決定ができている状態	DMOの運営人材の採用（スタッフレベル）が完了し組織体制が整った状態	プロパーとして採用した人材がDMOの中核を担っている状態
		財源	行政からの負担金や補助金を活用し、将来的な行政負担の軽減策について検討ができている状態	沖縄県で徴収を開始する宿泊税の活用等により、DMOの運営財源が多様化している状態	左記の宿泊税に加え、自主事業等による新たな財源により、財源がさらに多様化している状態
		事業	優先的に実施すべき事業を特定し、一部の事業が開始されている状態	事業計画～事業評価まで一連のPDCAサイクルが回り、年度毎の事業評価・検証ができている状態	
		情報	やんばる地域全体に必要なデータを特定し情報開示に向けた体制が整っている状態	収集したデータを関係者に適切に開示し、データ活用等に対する行政や民間事業者からのフィードバックを受け、よりよい情報公開を繰り返している状態	

5 章 やんばるDMOの目標及び評価体制

やんばるDMO戦略における目標値

本戦略で定める指標（KGI・KPI）は、上位計画である「やんばる観光地域づくり戦略」が目指す数値とし、計画最終年の2029年度の目標値は下記の通りです

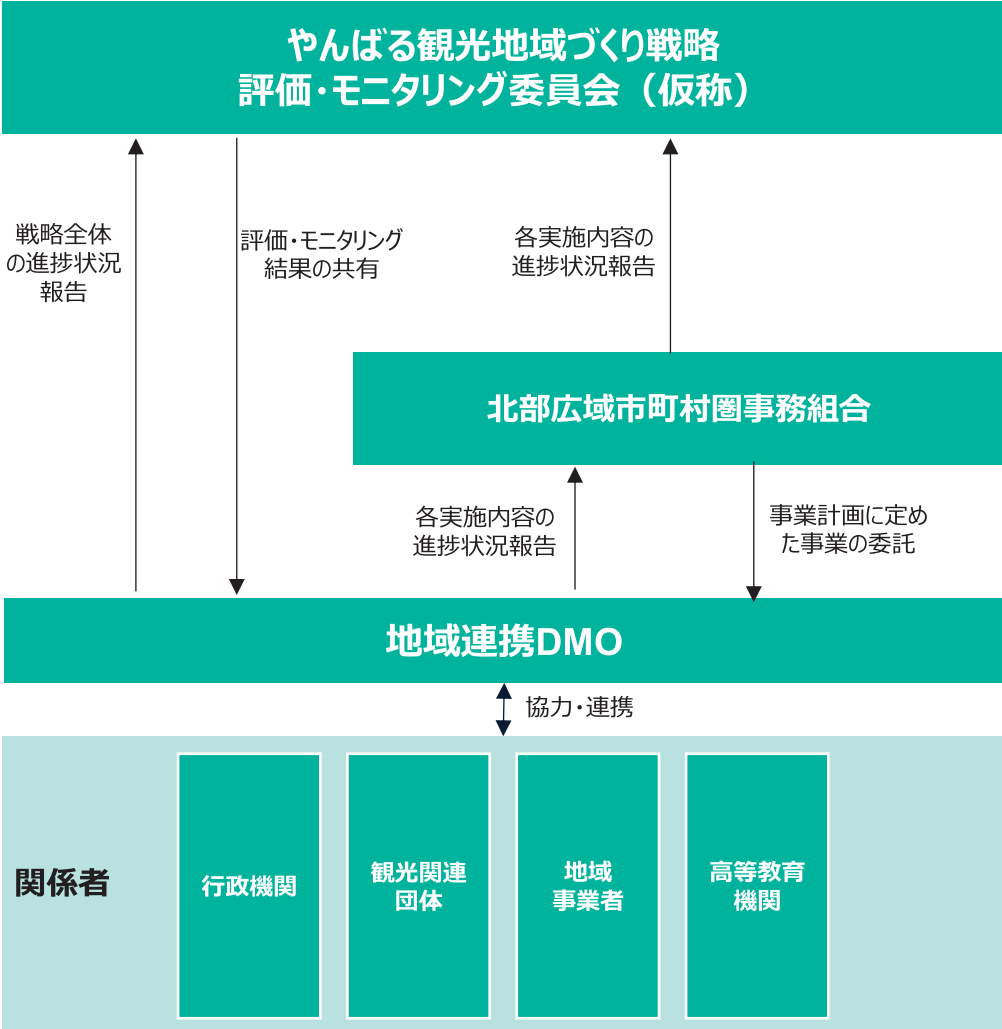
				指標の種別		現状数値	目標値	目標値設定の考え方
				KGI	KPI	令和6年 (2024)	令和11年 (2029)	
観光と住民・事業者・自然環境との共生								
	住民満足度			○		72%	80%	・ 29年に80%を目指す。状況変化の中でも一定の数値を維持
	観光業界従事者・事業者の満足度（事業者）			○		83%	90%	・ 29年に90%を目指す。状況変化の中でも一定の数値を維持
稼ぐ力								
	観光の経済効果の最大化							
	観光の経済効果	観光客数	観光来訪者数 （単位：千人）	○		5,543	7,000	・ 23年が6,292千人のため、29年に7,000千人を目指す （23年比13%増） ・ なお、県全体の観光来訪者数の約40%を北部が占める
			月別来訪者数の 平準化率		○	次年度測定	－	・ 次年度、数値取得を開始、その後目標を設定
			延べ宿泊者数	○				
		やんばる地域での訪問箇所数			○			
		1人当たり旅行消費額		○				
		観光事業者の平均給与額			○			
	マーケティング・ブランディング活動							
	来訪意向（旅行先としての興味・関心）			○		61.8%	80%	・ 29年に80%を目指す
	来訪者推奨意向（NPS）			○		8.8pt	15.4pt	・ 県内の南部のNPSに比肩することを目指す
	再来訪意向				○	次年度測定	－	・ 次年度、数値取得を開始、その後目標を設定

出所：日本観光振興協会、一般消費者向けアンケート、住民向けアンケートより作成

やんばるDMOが実施する事業の効果検証体制

やんばるDMOが実施する事業の効果検証は、有識者等の第三者で構成される「やんばる観光地域づくり戦略評価・モニタリング委員会」内で評価し、定期的に戦略内容の見直しを行っていきます

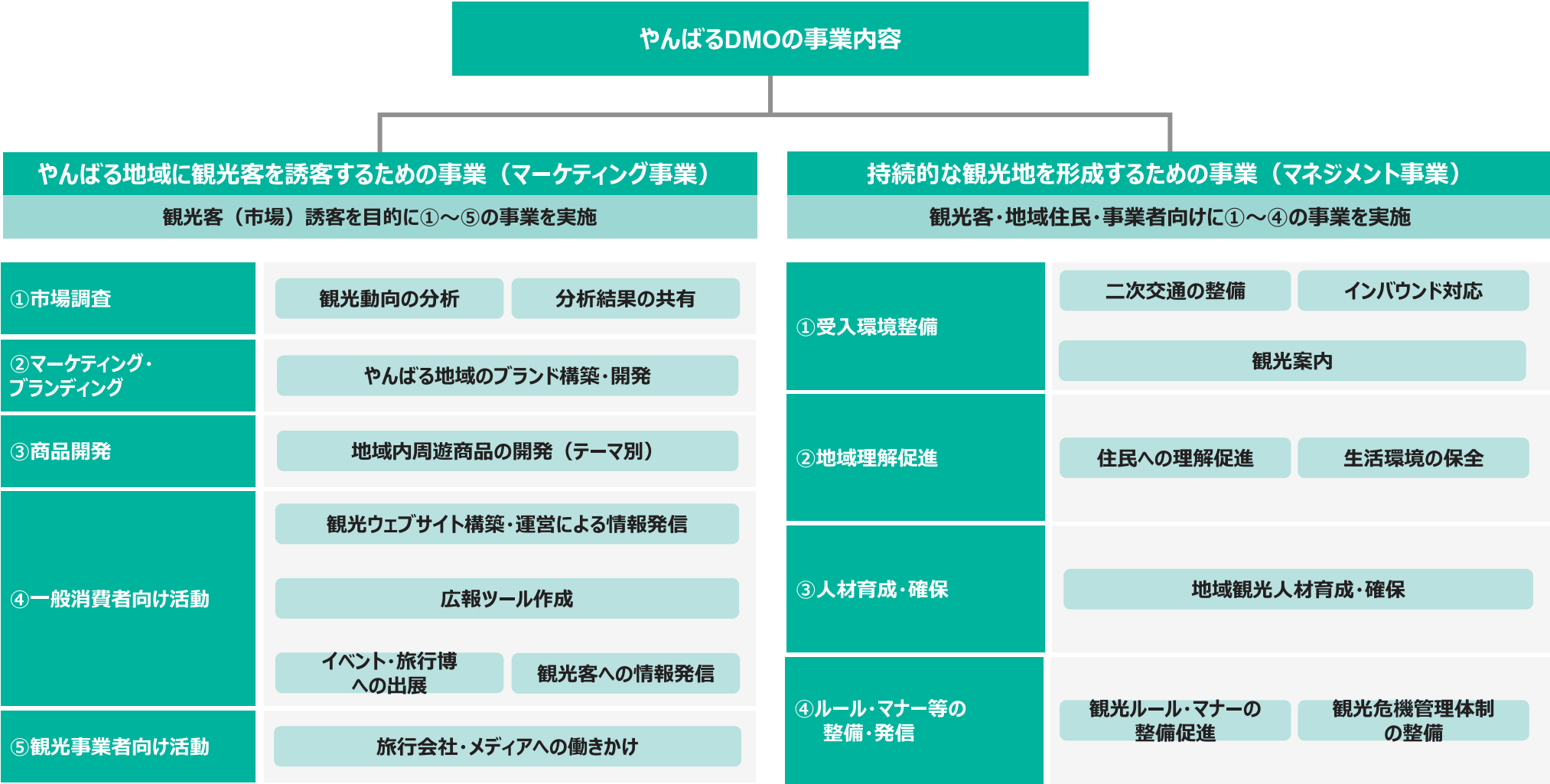
目的	● 本戦略で掲げるKPIや事業内容の達成状況を評価・モニタリングし、適切なタイミングで戦略の方向性 の見直しを行うため
評価・モニタリング 対象	● 本戦略の計画主体： やんばるDMO（仮称）
評価方法・時期	● 本戦略で掲げる事業内容の実施状況や本戦略内 で定めるKPIの数値を評価 ● 評価・モニタリングは年 1 回
評価体制	● 有識者等の第三者で構成された「やんばる観光地 域づくり戦略 評価・モニタリング委員会（仮称）」 を設置



6章 やんばるDMOが実施する事業内容

やんばるDMOが実施する事業の全体図

やんばるDMOは、やんばる地域を対象地域として、「マーケティング事業」と「マネジメント事業」の2つの観点から事業を展開していきます



やんばるDMOが実施する主なマーケティング事業

やんばる地域の潜在的消費者に関する情報を収集・発信しながらも、訪問頂いた観光客のやんばる地域全体への流動性を高めるためのマーケティング事業を展開します

分類	事業	概要
①市場調査 	観光データマネジメントプラットフォームの構築・運営事業	- 行政・民間事業者が観光施策や事業立案等をする上で参考となる観光関連データの収集・公表に向けた指針を整理 - 地域関係者（12市町村・観光協会）が実施する収集データの共通化や、やんばる地域の関係者が誰でも容易に観光データの利用ができる“観光データプラットフォーム”を構築を目指す
②ブランディング 	観光地としてのやんばるブランド構築事業	- やんばる地域が観光地としてブランド化を進めるためのブランド戦略を検討 - 各市町村・観光協会・地域事業者が一体となってマーケティング・プロモーション活動を実施できるよう、ブランディング・ガイドライン等を作成
③商品開発 	地域内周遊商品の開発事業	- やんばる地域に訪れてる観光客の流動性を高めることを目的として、広域観光側の旅行商品の開発を検討・実施 - 本部港クルーズ船客の滞在中の外国人観光客をターゲットに、滞在中の行動把握・分析に基づく周遊策の検討を実施
④一般消費者向け活動 	情報ウェブサイトの構築・運営事業	- マーケティング活動に活用可能なユーザーデータを取得できるマーケティングプラットフォーム（観光サイト）の構築 - 上記情報の定期的なアップデートをするとともに、将来的にはやんばるDMO主導による来訪者への情報発信やアンケート調査を実施
	旅行博等への共同出展事業	やんばるDMOが主導で旅行博への出展戦略・方針を作成し、各市町村・観光協会と協力・連携したプロモーションを実施
⑤観光事業者向け活動 	法人マーケット向けの誘客事業	やんばる地域の広域観光商品の販売に向け、旅行会社・メディア向けの商談会やファムトリップ等を実施

やんばるDMOが実施する主なマネジメント事業

やんばる地域の「稼ぐ力」と「地域住民・事業者の暮らしやすさ・事業のしやすさ」「地域の自然環境」のバランスをとるためのマネジメント事業を展開します

分類	事業	概要
①受入環境整備 	北部地域における観光周遊促進事業	- 現況調査や観光渋滞の対策方針を踏まえて、観光周遊手段や観光周遊拠点の検討を行う。また、それらを踏まえて周遊ルートを検討し、その運営体制やスケジュールを整理 - 本部港クルーズ船客の周遊促進に向けOCVBと連携した誘致活動や市町村と連携した受入を実施
②地域理解促進 	地域住民・地域事業者とのコミュニケーション事業	- 地域住民や事業者向けに観光振興に対する情報を定期的に開示する - 地域住民や地域事業者がやんばる地域の観光振興に対する意見が反映できる場（ワーキンググループ）を組成する
③人材育成・確保 	やんばる地域の観光人材育成事業	既存の観光関連人材を育成するためのカリキュラムを実施し、サービス提供の質向上を図るとともに、観光関連人材を志す人材を対象としたカリキュラムを実施し、人材獲得に取り組む
④ルール・マナー等の整備・発信 	ルール整備・啓蒙活動事業	外国人観光客をターゲットに、旅行を安全に楽しんでもらうための注意事項や、自然・文化・景観保護や地域住民配慮の観点から守ってほしいルールを整備し、情報を発信
	やんばる地域の観光危機管理体制整備事業	OCVBの取組と連携して、やんばるエリアでの観光危機管理体制の充実、現場の対応力向上を目指す

事業ロードマップ（R7－R11年度）

本戦略の計画期間中（R7-R11）では、以下の全体スケジュールで事業を進めていきます。なお、R7年度はやんばるDMO（仮称）の立ち上げ初年度であることを踏まえ、優先的に取り組むべき事業（リーディングプロジェクト）を設定した上で進めていきます

		凡例		準備期間		実施		★R7年度のリーディングプロジェクト			
		R7年度（2025）		R8年度（2026）		R9年度（2027）		R10年度（2028）		R11年度（2029）	
マーケティング事業	○北部地域観光プラットフォーム整備事業★	方針策定	PFの構築	普及活動	観光データマネジメントプラットフォームの本格運用（保守・運用）						
	○情報発信ホームページ構築事業★	方針策定	ウェブサイト構築	普及活動	ホームページの本格運用（保守・運用）						
	○観光地としてのやんばるブランド構築事業 ○地域内周遊商品の開発事業 ○旅行博等への共同出展事業 ○法人マーケット向けの誘客事業	実施内容の詳細はR7年度に検討									
	○北部地域における観光周遊促進事業										
	1）本部港クルーズ船受入体制構築事業★	基礎調査	方針策定	体制構築	実証	本格的な事業の実施					
マネジメント事業	2）北部地域観光周遊計画策定事業★	基礎調査	方針検討	計画策定	実証1	実証2		本格的な実装			
	○北部地域観光人材育成事業★	基礎調査	方向性の検討	実証	育成事業の実施						
	○地域住民・地域事業者とのコミュニケーション事業 ○ルール周知・啓蒙活動業務 ○やんばる地域の観光危機管理体制整備事業	実施内容の詳細はR7年度に検討									

リーディングプロジェクト（1/5）

事業名	北部地域観光プラットフォーム整備事業	事業期間	R7年4月～R8年3月（1年）																																																						
事業の目的	● 本事業では、行政・民間事業者が施策の立案や効果検証ができるように、観光関連データの活用の方針を定め、やんばる地域の観光関連データを一元化した観光データプラットフォーム（PF）を構築し、将来的にはやんばるDMOが運営することを目指す																																																								
事業内容	スケジュール <table><tr><th rowspan="2">活動内容</th><th colspan="4">R7年度（2025）</th></tr><tr><th>4－6月</th><th>7－9月</th><th>10－12月</th><th>1－3月</th></tr><tr><td>観光関連データ利活用方針策定</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>目的・ゴールの設定</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>データの洗い出し</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>北部地域観光プラットフォームの構築</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>アンケートデータの分析基盤</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>宿泊関連データの分析基盤</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>移動関連データの基盤構築</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>データの一元化</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>北部観光プラットフォームの普及活用ワークショップ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			活動内容	R7年度（2025）				4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	観光関連データ利活用方針策定					目的・ゴールの設定					データの洗い出し					北部地域観光プラットフォームの構築					アンケートデータの分析基盤					宿泊関連データの分析基盤					移動関連データの基盤構築					データの一元化					北部観光プラットフォームの普及活用ワークショップ				
活動内容	R7年度（2025）																																																								
	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月																																																					
観光関連データ利活用方針策定																																																									
目的・ゴールの設定																																																									
データの洗い出し																																																									
北部地域観光プラットフォームの構築																																																									
アンケートデータの分析基盤																																																									
宿泊関連データの分析基盤																																																									
移動関連データの基盤構築																																																									
データの一元化																																																									
北部観光プラットフォームの普及活用ワークショップ																																																									
実施体制	期待される効果とKPI <table><tr><td>やんばるDMO設立準備PJTチーム やんばるDMO（仮称）</td><td>期待される効果：行政機関の政策立案力の向上、民間事業者の事業の事業立案・効果検証力の向上</td></tr><tr><td></td><td>KPI：観光業界従事者・事業者の満足度</td></tr></table>			やんばるDMO設立準備PJTチーム やんばるDMO（仮称）	期待される効果：行政機関の政策立案力の向上、民間事業者の事業の事業立案・効果検証力の向上		KPI：観光業界従事者・事業者の満足度																																																		
やんばるDMO設立準備PJTチーム やんばるDMO（仮称）	期待される効果：行政機関の政策立案力の向上、民間事業者の事業の事業立案・効果検証力の向上																																																								
	KPI：観光業界従事者・事業者の満足度																																																								

リーディングプロジェクト（2/5）

事業名	情報発信ホームページ構築事業	事業期間	R7年4月～R8年3月（1年）																																							
事業の目的	● 将来的にDMOが広域型商品の販売や観光客に対する情報発信が可能となるよう、観光情報発信サイトに、マーケティング活動に活用可能なユーザーデータを取得できるマーケティングプラットフォームを構築・運用する。																																									
事業内容		スケジュール																																								
- 観光情報発信サイトの構築 - 観光情報発信サイトへの地域OTA・CRM機能の導入 - CMS（Contents Management System：コンテンツ管理システム）構築の業務 - 地域OTA機能の構築 - CRM（Customer Relationship Management：顧客関係管理）機能の開発 - AIレコメンド機能の構築		<table><tr><th rowspan="2">活動内容</th><th colspan="4">R7年度（2025）</th></tr><tr><th>4－6月</th><th>7－9月</th><th>10－12月</th><th>1－3月</th></tr><tr><td>観光情報発信サイトの構築</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>観光情報発信サイトへの地域OTA・CRM機能の導入</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>CMS構築の業務</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>地域OTA機能の構築</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>CRM機能の開発</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>AIレコメンド機能の構築</td><td colspan="4"> </td></tr></table>		活動内容	R7年度（2025）				4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	観光情報発信サイトの構築					観光情報発信サイトへの地域OTA・CRM機能の導入					CMS構築の業務					地域OTA機能の構築					CRM機能の開発					AIレコメンド機能の構築				
活動内容	R7年度（2025）																																									
	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月																																						
観光情報発信サイトの構築																																										
観光情報発信サイトへの地域OTA・CRM機能の導入																																										
CMS構築の業務																																										
地域OTA機能の構築																																										
CRM機能の開発																																										
AIレコメンド機能の構築																																										
実施体制	期待される効果とKPI																																									
- やんばるDMO設立準備PJTチーム - やんばるDMO（仮称）	- 期待される効果：マーケティング・ブランディング活動の効率化・高度化 - KPI：やんばる地域での訪問箇所数、来訪意向（旅行先としての興味関心）、再来訪意向																																									

リーディングプロジェクト (3/5)

事業名	本部港クルーズ船受入体制構築事業	事業期間	R7年4月～R9年3月（2年）																																							
事業の目的	● OCVBと連携した誘致活動や市町村と連携した受入など、本部港クルーズ船客のやんばる全体の周遊促進を見据え、本部港クルーズ船客の滞在中の行動の把握・分析に基づく周遊促進の方策検討を行う																																									
事業内容		スケジュール																																								
- クルーズ船受入時の全体像及び課題の把握 - 関係機関との調査・受入体制構築 - 消費拡大に向けた商品開発等 - 経済波及効果の算定 - 受入体制マニュアルの作成 - クルーズ船客のニーズ・行動調査		<table><tr><th rowspan="2">活動内容</th><th colspan="4">R7年度</th></tr><tr><th>4－6月</th><th>7－9月</th><th>10－12月</th><th>1－3月</th></tr><tr><td>課題把握（調査・ヒアリング）</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>関係機関との調整・受入体制構築</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>消費拡大に向けた商品開発等</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>経済波及効果の算定</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>受入体制マニュアルの作成</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>クルーズ船客のニーズ・行動調査</td><td colspan="4"> </td></tr></table>		活動内容	R7年度				4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	課題把握（調査・ヒアリング）					関係機関との調整・受入体制構築					消費拡大に向けた商品開発等					経済波及効果の算定					受入体制マニュアルの作成					クルーズ船客のニーズ・行動調査				
活動内容	R7年度																																									
	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月																																						
課題把握（調査・ヒアリング）																																										
関係機関との調整・受入体制構築																																										
消費拡大に向けた商品開発等																																										
経済波及効果の算定																																										
受入体制マニュアルの作成																																										
クルーズ船客のニーズ・行動調査																																										
実施体制	期待される効果とKPI																																									
- やんばるDMO設立準備PJTチーム - やんばるDMO（仮称） - 市町村 - 観光協会 - 観光事業者 - 交通事業者	- 期待される効果：観光の経済効果の最大化 - KPI：やんばる地域での訪問箇所数、1人あたりの旅行消費額																																									

リーディングプロジェクト（4/5）

事業名	北部地域観光周遊計画策定事業	事業期間	R7年4月～R10年3月（3年）																																							
事業の目的	● 本事業では、やんばる地域の観光周遊の需要把握にかかる調査・分析を踏まえ、観光客の観光周遊手段や観光周遊拠点の検討を行う。また、それらを踏まえて周遊ルートを検討した上で、その運営体制やスケジュールを整理する																																									
事業内容		スケジュール																																								
- やんばる地域における交通関連対策の状況把握と対応策の検討 - 観光渋滞状況の把握 - 観光周遊の将来予測 - 観光周遊手段・拠点・ルートの検討 - 市町村・事業者へのヒアリング - 今後の方向性と実証事業案の検討		<table><tr><th rowspan="2">活動内容</th><th colspan="4">R7年度（2025）</th></tr><tr><th>4－6月</th><th>7－9月</th><th>10－12月</th><th>1－3月</th></tr><tr><td>交通関連対策の状況把握と対応策の検討</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>観光周遊の需要把握に係る基礎調査・分析</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>観光周遊の将来予測</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>観光周遊手段・拠点・ルートの検討</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>市町村・事業者ヒアリング</td><td colspan="4"> </td></tr><tr><td>今後の方向性と実証事業案</td><td colspan="4"> </td></tr></table>		活動内容	R7年度（2025）				4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	交通関連対策の状況把握と対応策の検討					観光周遊の需要把握に係る基礎調査・分析					観光周遊の将来予測					観光周遊手段・拠点・ルートの検討					市町村・事業者ヒアリング					今後の方向性と実証事業案				
活動内容	R7年度（2025）																																									
	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月																																						
交通関連対策の状況把握と対応策の検討																																										
観光周遊の需要把握に係る基礎調査・分析																																										
観光周遊の将来予測																																										
観光周遊手段・拠点・ルートの検討																																										
市町村・事業者ヒアリング																																										
今後の方向性と実証事業案																																										
実施体制	期待される効果とKPI																																									
- やんばるDMO設立準備PJTチーム - やんばるDMO（仮称） - 観光事業者 - 交通事業者	- 期待される効果：観光の経済効果の最大化 - KPI：やんばる地域での訪問箇所数、延べ宿泊者数、1人あたりの旅行消費額																																									

リーディングプロジェクト（5/5）

事業名	北部地域観光人材育成事業	事業期間	R7年4月～R9年3月（2年）
-----	--------------	------	-----------------

事業の目的	● 本事業では、北部地域における観光人材育成のポテンシャルを調査し、人材ニーズ調査を行う。それを基に、北部地域としての観光人材の目指す姿と、育成カリキュラム仮説を策定・一部を試験的に実行する
-------	---

事業内容
・ やんばる地域での観光人材ニーズ調査 － 内部環境・外部環境の把握 － やんばる地域の観光人材育成状況の把握 － 域内のステークホルダーに対するニーズ把握 ・ 育成対象や人物像人材の定義 － 求められる人物像の可視化 － スキルセットの整理 － 育成対象の設定 ・ 人材育成カリキュラム、ロードマップ等の仮説立案 － 各ステークホルダの役割分担やカリキュラム内容の仮説の整理 ・ カリキュラム案に対するフィードバック収集 ・ カリキュラムの策定

実施体制
・ やんばるDMO設立準備PJTチーム ・ やんばるDMO（仮称） ・ 名桜大学

期待される効果とKPI
・ 期待される効果：観光人材の安定供給 ・ 観光業界従事者・事業者の満足度、観光事業者の平均給与額

スケジュール				
活動内容	R7年度（2025）			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
観光人材ニーズ調査				
内部環境・外部環境の把握				
観光人材育成状況の把握				
域内のステークホルダーに対するニーズ把握				
育成対象や人物像人材の定義				
求められる人物像の可視化				
スキルセットの整理				
育成対象の設定				
人材育成カリキュラム、ロードマップ等の仮説立案				
フィードバック収集				
カリキュラムの策定				

資料編